

一般廃棄物の収集運搬業務委託に係る仕様書

業務名称	大阪精神医療センター 一般廃棄物の収集運搬業務委託
業務概要	本業務は、大阪精神医療センターの一般廃棄物の収集及び運搬を行う業務である。
一般廃棄物搬出元	大阪精神医療センター 大阪府枚方市宮之阪三丁目 16 番 21 号
履行期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで
適用範囲	この仕様書に規定する事項は、受注者がその責任において履行するものとする。
業務体制等に関する事項	<p>(1) 業務責任者等の設置と業務体制の確立 受注者は、事務責任者、業務責任者、副業務責任者及び作業員をもって業務体制を組織する。また、受注者は、その内容を本契約締結時に発注者に届け出なければならない。</p> <p>ア 本社等の体制 事務責任者：事務を掌握し、かつ業務責任者を指揮する者</p> <p>イ 現場の体制 業務責任者：業務を総合的に把握し、かつ調整を行い、作業員を指揮監督するとともに、発注者の施設管理担当者からの業務上の依頼に対して、即座に対応が取れる者</p> <p>作 業 員：業務責任者の指揮監督に従い、本業務に従事する者</p> <p>(2) 服従規律 受注者は、当該業務の履行を通じて知り得た業務上の秘密を第三者に漏らしてはならない。 このことは、契約期間満了後及び契約解除後においても同様とする。</p>
業務内容及び履行に関する事項	<p>(1) 許可証等 受注者は、当該業務を行うにあたり、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 7 条第 1 項の規定に基づき、枚方市長が発行する「許可証」を有すること。</p> <p>(2) 本業務で搬出する一般廃棄物の排出量及び搬出回数</p> <p>ア 年間排出量 紙類、衣類、生ゴミ等 222 t</p> <p>イ 年間搬出回数 362 回</p> <p>※排出回数及び排出量は令和 3 年度の見込み実績であり、変動することがある。 ※上記以外の臨時排出の際には発注者・受注者協議の上業務を行うものとする。</p> <p>(3) 搬出作業の方法等 本業務における廃棄物の搬出については、原則として毎日搬出し、枚方市の東部清掃工場等に搬入するものとする。ただし、枚方市の清掃工場が休業しているときを除く。受注者は、毎月の搬出量について、別紙「一般廃棄物処理量報告書」を作成し、業務実施月の翌月 5 日までに発注者に報告すること。</p>

	<p>(4) 運搬車両について</p> <p>ア 使用する車両すべてにおいて、大阪府生活環境の保全等に関する条例第40条の14第1項第5号に定める「車種規制適合車等」に合致する車両を使用すること。</p> <p>イ 一般廃棄物等の飛散、落下を防止した車両を使用すること。</p> <p>ウ 受注者は、業務従事者に、急停車・急発進・急ハンドル等の無い、安全かつ丁寧な運転を心掛けるよう指導するとともに、環境への負荷が少なくなるよう考慮した運転等に努めるよう的確な指導を行い、実施させること。</p> <p>(5) その他履行に関して</p> <p>ア 本業務の履行に当たっては、一般廃棄物等の積替え・保管を行ってはならない。</p> <p>イ 搬出元が公立病院であることを十分に認識するとともに、構内において車両による汚損、一般廃棄物等の飛散等及び公序良俗に反する行為を行ってはならない。また、一般廃棄物等の飛散等により発注者の施設に汚損及び損壊を与えた場合は、すべて受注者の負担にて弁済しなければならない。</p> <p>(6) 法令の遵守等について</p> <p>受注者は、大阪精神医療センターの積込業務開始から処分地における荷下ろし業務完了まで、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」のほか、「道路運送車両法」、「道路交通法」、「大阪府条例」その他の関係法令等を遵守し、適正に処理するものとし、その法令等に違反した業務により発注者及び第三者に損害が発生した場合は、受注者の責任により損害を賠償すること。</p> <p>(7) 再委託の禁止</p> <p>受注者は、本仕様書の一般廃棄物の収集・運搬業務委託を他人に再委託してはならない。また、本仕様書上の義務を第三者に承継させてはならない。</p>
<p>契約金額・支払いに関する事項</p>	<p>本業務に係る契約金額の支払いは、月額の設定額とし、消費税及び地方消費税を加算した金額を支払うものとし、発注者は、1か月間の業務実施に係る委託料について、当該月の月末締めのご請求書により、翌月末日までに支払うものとする。</p>